

サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ（演習）

認定NPO法人アフタースクールぱるけ

代表理事 谷津 尚美

演習にあたって ポイントの整理

1. できていること、できていないこと、
今後の対応についての整理（自己評価）
2. 今後について、取り組めそうなことを
グループで考える（意見交換）
3. 「私はこんなサビ児管になる！」を表明
する（宣言）

関係機関との連携

サビ児管同士や学校、病院、就労等関係機関等との連携について、サビ児管が主体的になって取りまとめていく

できている（理由↓）

できていない（理由↓）

今後の対応

相談支援専門員との連携

サビ児管は、相談支援専門員との連携にあたって、利用者の状態の変化時に連絡をして対応を求めるのではなく、常に連絡を取り合って情報共有することで状態の変化にも柔軟に連携して対応することができる。

できている（理由↓）

できていない（理由↓）

今後の対応

担当者会議の開催依頼（出席）

サビ児管が相談支援専門員に担当者会議を開催することを求めたり、担当者会議での議論の内容や自身の役割などについて事前に協議することが必要

できている（理由↓）

できていない（理由↓）

今後の対応

サビ児管から見た地域課題への対応（自立支援協議会への報告等）

担当者会議を経て、事業所内での解決できない利用者のニーズを地域課題として捉え、相談支援専門員や所属の管理者（協議会に参加している場合）を通して協議会に報告することで、地域で共有し、改善にあたっていくこと

できている（理由↓）

できていない（理由↓）

今後の対応

グループワーク活性化のためのグラウンドルール

- ◆ テーマに意識を集中して話し合しましょう。
- ◆ グループメンバーの一人ひとりが、自身の考えを積極的に発言しましょう。
- ◆ 発言は短く、簡潔に。（一回の発言は1～2分）
- ◆ 他のメンバーの話に耳を傾けましょう。
- ◆ 他のメンバーの意見を否定せず、受け止めましょう。
- ◆ アイデアの共通点を見つけながらつなぎ合わせましょう。

1.できていること、できていないこと、
今後の対応についての整理

個人ワーク

シート1～4をまとめましょう。

目安時間 10分

2. 今後取り組めそうなことをグループで考える

グループワーク

個人ワークで記載したシートを発表し、グループ参加者から意見をもらってください。

目安時間**50**分

全体共有

グループの代表者の発表

2グループ程度
(1グループ3分)

3. 「私はこんなサビ児管になる！」を 表明しよう

サビ児管実践研修を振り返り、各自「私はこんなサビ児管になる！」を記載してグループメンバーに表明しましょう。

25分程度



おわり

大変お疲れさまでした。

